

表2 平成20年度詳細環境調査検出状況・検出下限値一覧表

物質調査番号	調査対象物質	水質 (ng/L)		底質 (ng/g-dry)		大気 (ng/m ³)	
		範囲 検出頻度	検出 下限値	範囲 検出頻度	検出 下限値	範囲 検出頻度	検出 下限値
[1]	アクリル酸- <i>n</i> -ブチル					nd~78 1/20	29
[2]	アクロレイン					20~500 21/21	0.50
[3]	4-アミノ-6- <i>tert</i> -ブチル-3-メチルチオ-1,2,4-トリアジン-5(4 <i>H</i>)-オン (別名:メトリブジン)及びその分解物						
[3-1]	4-アミノ-6- <i>tert</i> -ブチル-3-メチルチオ-1,2,4-トリアジン-5(4 <i>H</i>)-オン (別名:メトリブジン)	夏季 nd~4.4 7/20 秋季 nd 0/33	夏季 1.4 秋季 1.3	夏季 nd 0/20 秋季 nd 0/26	夏季 0.046 秋季 0.0055	nd 0/20	1.5
[3-2]	4-アミノ-6- <i>tert</i> -ブチル-2 <i>H</i> -1,2,4-トリアジン-3,5-ジオン (別名:メトリブジン-ジケト)	夏季 nd 0/20 秋季 nd 0/1	夏季 1.8 秋季 6.5	夏季 nd 0/20 秋季 nd 0/26	夏季 0.15 秋季 0.22		
[3-3]	6- <i>tert</i> -ブチル-3-メチルチオ-1,2,4-トリアジン-5(4 <i>H</i>)-オン (別名:メトリブジン-デスアミノ)	夏季 nd~1.4 5/20 秋季 nd 0/1	夏季 0.46 秋季 0.14	夏季 nd 0/20 秋季 nd 0/26	夏季 0.018 秋季 0.033		
[3-4]	6- <i>tert</i> -ブチル-1,2,4-トリアジン-3,5(2 <i>H</i> ,4 <i>H</i>)-ジオン (別名:メトリブジン-デスアミノ-ジケト)	夏季 nd~3.2 1/20 秋季 nd 0/1	夏季 2.8 秋季 5.3	夏季 nd 0/20 秋季 nd 0/26	夏季 0.11 秋季 0.19		
[4]	イソブチルアルコール					nd~900 11/21	170
[5]	キノリン					nd~12 11/15	0.32
[6]	4-クロロフェノール (別名: <i>p</i> -クロロフェノール)	nd~2.7 2/34	1.7				
[7]	α -シアノ-3-フェノキシベンジル=2-(4-クロロフェニル)-3-メチルブチラート (別名:フェンバレレート)			nd 0/27	※1.5		
[8]	4,4'-ジアミノジフェニルメタン (別名:4,4'-メチレンジアニリン)	nd~16 11/28	1.2				
[9]	ジシクロペンタジエン					nd 0/20	2.5
[10]	1,4-ジメチル-2-(1-フェニルエチル)ベンゼン	nd~17 3/7	2.1	0.04~65 13/13	0.02		
[11]	2,4,5-トリクロロフェノール	nd 0/36	7				
[12]	3,5,5-トリメチル-2-シクロヘキセン-1-オン (別名:イソホロン)					nd 0/21	31
[13]	ピペラジン	nd~40 4/31	4				
[14]	2- <i>tert</i> -ブチル-5-メチルフェノール	nd 0/33	1.9				
[15]	<i>p</i> -ブロモフェノール	nd~2.9 2/34	1.8				

物質調査番号	調査対象物質	水質 (ng/L)		底質 (ng/g-dry)		大気 (ng/m ³)	
		範囲 検出頻度	検出 下限値	範囲 検出頻度	検出 下限値	範囲 検出頻度	検出 下限値
[16]	4-tert-ペンチルフェノール	nd 0/33	1.1	nd~0.44 6/26	0.28		
[17]	N-メチルカルバミン酸 1-ナフチル (別名: カルバリル又はNAC) 及びその分解物						
[17-1]	N-メチルカルバミン酸 1-ナフチル (別名: カルバリル又はNAC)	夏季 nd~9.9 19/20 秋季 nd 0/32	夏季 0.011 秋季 0.53				
[17-2]	1-ナフトール	夏季 nd~9.3 20/20 秋季 -	夏季 0.35 秋季 -				
[18]	3-メチルピリジン					nd 0/7	3.4
[19]	S-メチル-N-(メチルカルバモイルオキシ)チオアセトイミダート (別名: メソミル)	夏季 nd~36 16/20 秋季 nd~6.4 7/33	夏季 0.38 秋季 3.0				

(注1) 検出頻度は地点ベースで示した。すなわち、検出地点数/調査地点数(測定値が得られなかった地点数及び検出下限値を統一したことで集計の対象から除外された地点数は含まない。)を示す。1地点につき複数の検体を測定した場合において、1検体でも検出されたとき、その地点は「検出地点」となる。

(注2) 範囲は検体ベースで示した。そのため、全地点において検出されても範囲がnd~となることがある。

(注3) □は調査対象外の媒体であることを意味する。

(注4) ※は異性体群ごとの検出下限値の合計とした。

(注5) 「夏季」とは農薬調査において得られた結果であることを、「秋季」とは他の物質と同様に通常の試料採取において得られた結果であることそれぞれ意味する。